

憧れのハワイ演奏旅行記

船橋シニアアンサンブル 穴倉和夫

ハワイは地球上で最も気候に恵まれたところで、夏も冬もアロハシャツで過ごせ、鳥や蛇、蠅、蚊など人間に害を与える生物がいらないという楽園と聞き、ぜひ一度、行ってみたいと若い時から憧れていました。

ところが4年前に所属する船橋SEで“まつりインハワイ”への参加が企画され、早速応募しましたが、直前に東日本大震災が起こり延期となり、更に昨年応募した全シ連のツアーも延期されました。私にとっては今回4度目の正直となりましたが、念願通り、夢のような五日間になりました。

第1日目はホノルル市内観光：ハワイを統一したカメハメハ大王の銅像など貿易風（汐風ではない！）にさらされながら観光。夕食はコックさんが面白いパフォーマンスで焼く鉄板焼きで皆で盛り上がりながら会食。



第2日目はオアフ島内観光：皆、別行動でした。ハワイ島に行った人もいますが、私はパールハーバーを観光。戦艦アリゾナが沈没されたまま保存しており、太平洋戦争の戦跡として感慨深いものがありました。



♪この木なんの木きになる木♪

3日目はアラモアナショッピングセンターという環太平洋最大のSCの催物ステージでの演奏でした。ステージの前で立ち止まったり座って聞いて下さった方は約100人、歩きながら聞いて下さった方は推定200人くらいでした。年齢層はやはり60～70才代で日本人よりも外国人の方が多かったと思います。五十嵐先生の指揮で皆「すばる」「ふるさと」など無難に演奏し、大きな拍手を頂きました。国際色豊かなアラモアナのステージで演奏したことは生涯のよい記念になりました。

第4日目はアラワイパラディウムというゴルフ場に隣接の体育館のようなホールでの地元オアフシビックオーケストラ(OCO)との共演で、約400名の来客者の前で第1部が私たち19名の演奏で環太平洋の民謡メドレーなど6曲を演奏、第2部は地元OCO62名の演奏、ものすごい迫力に圧倒されました。主にクラシックでしたが、日本の「軍艦マーチ」や「波浮の港」も上手に演奏され感激しました。



国際交流はよいものです。第3部はOCO団員の間に私たちも加わって合同演奏。「荒城の月」を五十嵐先生の指揮で“アロハオエ”をロン平井先生の指揮で演奏し感激しました。中には感涙した人もいました。私たちの演奏にも大きな拍手を頂き、合同演奏もOCOの団員が親切にして下さり、心暖まるお土産まで頂き言葉は通じなくても“おもてなし”の暖かさを感じました。終了後、レストランで日米の食事会、最後に専属のバンドと“アロハオエ”を全員で合唱。大変盛り上がった演奏会でした。

ハワイOCOの平井先生ほか団員の皆さま、全シ連の方々、近畿日本ツーリストの安藤様、誠に有難う御座いました。今回の渡航は高齢者が多いことや、楽器の運搬や現地での調達、現地でのリハーサルなど不安材料が多かったが全て無事に終わったことご同慶に存じます。全シ連の国際交流の第1段としては大成功だったと思います。